

あつぎ

# 農委だより

2019年  
1月1日  
第83号  
編集・発行  
厚木市農業委員会

朝、ふれた手が  
陽の光よりあたたかい

2面 あなたの農地、借りてくれる人探してみませんか  
今すぐ送れる**意向調査票**

3面 農地を守れ！鳥獣被害と闘う人たち  
**STOP!! 鳥獣被害～猟友会の活動～**

4面 **新春 花特集**  
あつぎの花に、**恋**をしよう。



### 厚木市民朝市

毎週日曜日（定休日1月第1日曜日）  
4～9月 午前5時30分から午前7時まで  
10～3月 午前6時から午前7時まで  
厚木市文化会館駐車場（厚木市恩名1-9-20）

謹賀新年



厚木市農業委員会  
会長 堀池 春夫

あけましておめでとうござい  
ます。

ご家族おそろいで新年をお迎  
えのこととお喜び申し上げます。  
今年が皆さまにとって、輝  
かしい希望にあふれた年であり  
ますよう心から願っております。

さて、昨年は、甚大な暴風・  
豪雨被害をもたらした台風の度  
重なる上陸など、農作物の育成  
はもとより、国民生活に大きな  
影響を及ぼす災害が多く発生し  
ました。

また、農業者の高齢化、後継  
者不足など、農業を取り巻く環  
境は、依然として、大変厳しい  
情勢下にあります。

こうした中、本農業委員会で  
は、農業委員と農地利用最適化  
推進委員の新体制のもと、両委  
員一丸となって、この2年間、  
農地等の利用の最適化の推進（遊  
休農地の発生防止・解消、担い  
手への農地利用の集積・集約化、  
新規参入の促進）に取り組んで  
まいりました。

早いもので、本年10月には、  
委員の改選期を迎えます。残り  
僅かではございますが、引き続  
き本市農業を支えるべく活動を  
行っております。

私たち委員は、農業者の代表  
としての自覚と信念を持ち、農  
業経営のより一層の向上が図ら  
れるよう、取り組んでまいり所  
存でございます。

農業者をはじめ、市民の皆さ  
まのご理解とご協力をお願い申  
し上げ、年頭のあいさつといた  
します。



# 農地利用最適化のための意見・要望書を提出

本農業委員会では、農業者の代表として、農業生産力の増大や農業従事者の地位向上のため、施策及び予算について、毎年、意見・要望書を市長に提出しています。

## 2019年度新規要望

- ◎市の都市農業振興計画における各地区での話し合い（アクションプラン）において、現状をよく把握し、対策を講じること。
- ◎里山を適切に管理・保全できる手段を考え、農地利用の促進を図ること。
- ◎資材置場等の利用について、隣接農地に影響のないよう指導を徹底すること。
- ◎初期に設置された広域獣害防護柵を有効に機能させるため、計画的な改修事業を実施すること。



意見・要望書を掲げる堀池会長（左）と小林市長（右）

その他、合わせて22項目の意見・要望を行いました。

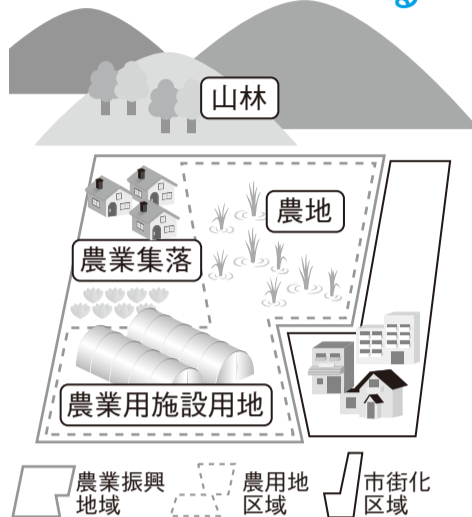
# 農業振興地域整備計画の決定

市が定める農業振興地域整備計画が昨年7月20日、変更されました。

整備計画は、農地と農地以外の土地利用の調整を図り、地域に必要な農業施策を計画的に実施することで、農業の健全な発展と土地の有効利用を図るための計画です。

## 農用地区域 413ヘクタール、確保を図る

整備計画では、農用地区域は、北部地区で199ヘクタール、西部地区で59ヘクタール、南部地区で155ヘクタールを農用地区域として確保し、農業振興を図ることとされました。さらに、厚木市都市農業支援センターを中心として、農業の担い手を育成していくことや農地中間管理機構を利



詳細につきましては、市のホームページをご覧ください。  
【問い合わせ先】  
農業政策課  
☎225局2800

# 地域にうるおいを



小野にあるミカン畑には、近くの幼稚園に通う園児の夢中になる姿があります。



ミカンの香りがただよう

このミカン畑を耕作しているのは、小野にお住まいの三橋昇さん（80歳）です。三橋さんは、退職後、どうしたら自分の育った地域に貢献できるのかを考えたと言います。そして、農地を持つ者として、農地を活かし、地域にうるおいを、子どもに教育の場を提供したいと考え、本格的に農業に取り組み始めました。「ミカンを目の前にした子どもたちは、目を輝かせ、言葉を忘れらるくらい夢中になってくれる。農業者としてやりがいを感じる時だ。」と嬉しそうに話します。

# 新規就農者の紹介

2018年に就農した吉岡祐邦さん（34歳）は、現在、上依知で59㊦の農地を耕作しています。

## 就農までの経緯は

IT企業でゲームのプログラマーをしていましたが、農業への憧れがありました。あるとき、JAあつぎの農業塾の募集を見て、「これだ！」と思い、申し込みました。その後、1年間農業を学び、農家での研修を経て、地元である上依知で就農しました。

## 現在の作付けの状況は

加工用キャベツや津久井在来大豆、麦を作っています。今後は農地を拡大して、スイカの栽培を取り入れ、安定した収穫を目指します。

## 苦労していることは

今年は暑い日が多かったので、雑草との戦いが大変でした。



また、畑に水が入ってしまい、大豆が発芽しなかったり、発芽しても生育が悪かったりと、思うように栽培ができないことがあります。

## これからの目標は

作物を栽培するだけでなく、6次産業化をしていきたいと思っています。また、プログラマーの経験を活かしていけないかとも思っています。

# 農地意向調査票

農地の貸し手募集中

あなたの農地、借りてくれる人を探してみませんか。

次の事項にご記入いただき、本紙を農業委員会まで持参または郵送ください。（☎〒243-8511 厚木市中町 3-17-17）

いただきました情報は、厚木市都市農業支援センター及び神奈川県農地中間管理機構と共有し、貸し借りのあっせんに活用します。

なお、貸し借りに結び付かない場合もありますので、あらかじめご了承ください。

フリガナ	
氏名	①
住所	
電話番号	
貸したい農地の所在地番	(複数可)
公表への同意 (いずれかに○)	上記農地についての意向を公表することに 同意します・同意しません

公表への合意をいただいた場合には、農地情報閲覧サービス「全国農地ナビ」(https://www.alis-ac.jp)等を活用し、広く借り手を募集いたします。(※氏名、住所、電話番号につきましては、公表いたしません。)

知らない損する

国が支える 安心が大きくなる

## 担い手積立年金

詳しくは… 農業者年金基金 検索

お手続きは、JAあつぎ本所、各支所または農業委員会事務局へ

### 1 農業に従事されている方は誰でも加入できます

60歳未満の国民年金第1号被保険者(国民年金保険料納付免除者を除く。)であって年間60日以上農業に従事している方は誰でも加入できます。配偶者や後継者など家族農業従事者の方も加入できます。

家族一人ひとりの年金を！今、女性の新規加入者が増えています

### 2 保険料は自分で選べ、いつでも見直しできます

自分が必要とする年金額の目標に向けて、保険料を自由に決められ(月額2万~6万7千円の間で千円単位)、経営の状況や老後設計に応じていつでも見直せます。

### 3 税制面で大きな優遇措置があります

- 支払った保険料は、全額が社会保険料控除の対象となり、所得税・住民税が節税になります(支払った保険料の15%~30%程度が節税)。
- 農業者年金基金が保険料を運用して得られる収益(保険料の運用益)は非課税です。
- 将来受け取る農業者年金には、公的年金等控除が適用されます。(65歳以上の方は公的年金等の合計額が120万円までの場合は、全額控除できます。)

つまり入口から出口まで税制上の優遇措置があります



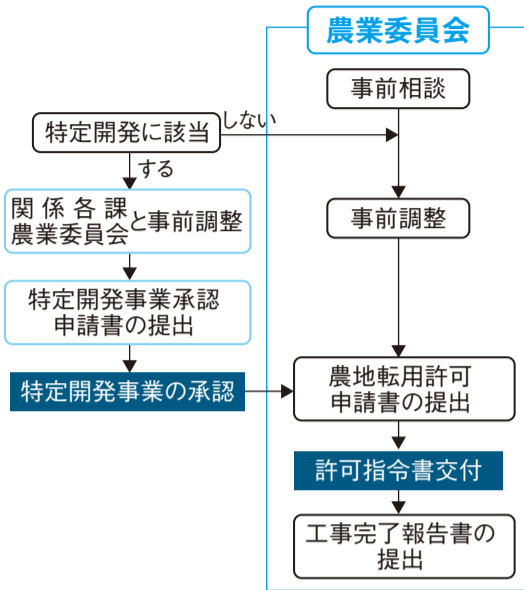


# 農地転用許可申請 手続きのお知らせ

調整区域内農地を転用する場合には、申請手続きにご注意ください。調整区域内農地の転用をお考えの方は、農業委員会に事前の相談が必要です。

また、その転用行為が特定開発に該当する場合、許可申請は特定開発事業の承認後に受け付けしています。

なお、事前調整において、必要と認められる場合、農業委員による聴取が行われます。



# 農業塾受講生 募集開始

## 3月開講



将来のあつぎの農業を担う方を対象に研修講座を開講します。

### <新規就農コース>

新たに市内で就農を目指している方を対象に実践的な講座とは場実習を通して、新規就農者としての知識を学びます。

■1月15、16日、JAあつぎ本所に申込書と営農計画書を提出、面接審査あり

### <基礎・応用コース>

講座とは場での栽培実習を通し、農業に関する基礎知識を学びます。

■2月4、5日、JAあつぎ本所に申込書を提出

### <問い合わせ先>

JAあつぎ指導販売部 地域農業対策課 ☎221局2273



### Q 農地を買って耕作したいときはどうすればいいの？

- A 農地法の許可をとる必要があるよ。ただし次の要件等を満たしていないといけないんだ。
- ◎農地を全て効率的に耕作すると認められること
  - ◎年間150日以上耕作をすると認められること
  - ◎取得後の経営面積が下限面積を超えること

### Q 下限面積ってなあに？

A 農地を買うために必要な面積要件のことだよ。下限面積は、農業委員会が区域内の農業状況を見て、一定の基準に従って定めることができるんだ。昨年10月に、これまで30アールとってきたけど、25アールへと引き下げたんだよ。



# 農地取得要件の緩和

厚木市農業委員会では、2018年10月から農地を取得する際の下限面積を25アールと決めました。耕作を目的として農地を取得する際には、権利取得後に一定の面積以上の経営をする必要がありますが、市内の農業状況を考慮し、この面積を30アールから25アールへと引き下げました。

# 25アール



# STOP!!鳥獣被害く 人と自然の共存のために

本市において農作物の鳥獣被害は深刻です。2017年の被害額は、申告があったものだけでも約480万円に上ります。

こうしたなか、市の鳥獣被害を食い止めるため、猟友会に所属し、活動している方たちがいます。

**市の農地を守るハンター  
神奈川県猟友会厚木支部**

猟友会厚木支部には、駆除隊員が約30人所属しており、普段は10人から15人で活動しています。被害が報告された地域の山に入り、猟銃でシカやイノシシを駆除するほか、サルやクマなどの追払いをしています。

野生動物による農業被害については、支部長の安藤忠幸さん(68歳)は、「山と人里の間にある里山や農地の手入れが行き届かなくなっ



たことで、野生動物の行動を制限するものがなくなり、人里に下りてきやすくなったため、増加しているのではないかと推測しています。

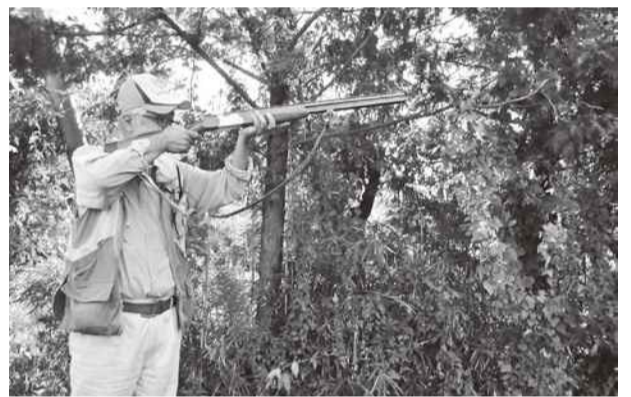
**常に「いのち」と向き合う**

「我々の活動にミスは許されません。ミスは文字どおり命取りを意味します。事故が起きないよう、コミュニケーションをとり、誰がどこで何をしようとしているのか、常に

「我々の活動にミスは許されません。ミスは文字どおり命取りを意味します。事故が起きないよう、コミュニケーションをとり、誰がどこで何をしようとしているのか、常に

気を配っています。」と安藤さんは、真剣な面持ちで語ります。

野生動物は、個体数が増えれば、食料が足らなくなり、人里に下りてきます。猟友会の活動は、個体数のバランスをとり、人と自然が共存できる環境づくりに欠かせないものです。



厳しい表情で猟銃を構える安藤忠幸支部長

本農業委員会では、農地の利用状況を細かく確認するため、毎月、農地利用最適化推進委員が中心となり、農地パトロールを実施しています。特に8月と9月は、農地パトロール強化月間とし、市内全ての農地を調査しています。

**2018年  
遊休農地、13・47ヘクタール**

パトロールの結果、13・47ヘクタールが遊休農地として、39・9ヘクタールが管理や耕うんのみで作付けがされていない農地として判断されました。

このパトロールの結果を農地利用の最適化に活かすため、11月から推進委員が遊休農地の所有者を直接訪問し、今後の意向を確認しています。

推進委員の
活動記録



**農業委員編集手記**  
農政担当理事 木原 淳子

本紙4面では、花の特集を掲載しています。

寒さに強い花は、ビオラ、スノードロップ、ガーデンシクラメンなどが代表的で、これからの季節にぴったりです。

花には、心身をリラックスさせ、リフレッシュさせる効果があります。土に触れ、厚木の花で寄せ植えに挑戦してみたいかがありませんか。玄関も華やかに、心も和みます。



スノードロップ

**全国農業新聞**  
NATIONAL AGRICULTURAL NEWS

毎週金曜日発行

月700円(送料込)

お申し込みは 農業委員会事務局へ



# わたしの寄せ植え



11月23、24日に第49回厚木市農業まつりが開催され、約7万5千人が来場しました。今回は、寄せ植え体験コーナーに参加されたご家族の作品を見てみましょう。



大貫さんご夫婦。色の違うスマイレを使用して、華やかな彩りに仕上げました。



親子三代で来た清水さん一家。中心のネメシアがきれいに映えるよう頑張ります。



「花セラピー花育授業」が戸室3丁目にあるみどり保育園で行われ、園児たちは、フラワーアレンジメントを楽しみました。

これは、魅力ある国産の花の需要拡大を目的とした「国産花きイノベーション推進事業」の一環です。

授業では、市内バラ生産者である内田博夫さん（69歳）から、栽培方法について説明を聞き、実際にバラが配られました。興味津々の園児たちは、とげに触れ、歓声をあげました。

続いて、さまざまな草花が配られると、なでる子や匂いのかぐ子、口にくわえてみる子など、さまざまな反応がありました。

子どもたちの作るフラワーアレンジメントには、どれ一つとして、同じものはありません。この違いこそが、花育の楽しさだと講師である川見紀子さんと東條りえさんは言います。

「みんなの心が違えば、選ぶ花も変わってくる。見本もなく、ルールもない。それが花育の魅力です。」

子どもたちの心には、花のよう

# 心の色のちがいを楽しむ



国産花きイノベーション推進事業などのさまざまな取組みにより、ますます高まる厚木の花の魅力について、厚木市園芸協会会長であり、花き温室部会部会長でもある難波博文さん（69歳）にお話を伺いました。

**厚木市園芸協会とは**

収益性の高い都市農業の実現を目的に設立された農業生産者による団体です。

**厚木の花の魅力とは**

花は、色、形、香りや変化を楽しめるほか、生活の一部として飾ることで、心に潤いや安らぎを与えてくれます。

さらに、さまざまな種類の切り花や鉢物を、鮮度の良い状態で消費者に供給できるという市内産ならではの魅力もあります。

最近では、市場への出荷のほか、夢未市などの直売所で消費者に直接販売する生産者が増え、消

よく晴れた10月の朝、上依知小学校と飯山小学校の一角にたくさんのビオラが届きました。

J Aあつぎが行う「夢ある未来プロジェクト」では、地元の組織代表者やJ Aあつぎの職員が、子どもたちとビオラの植栽を行いました。

**色とりどりの笑顔とビオラ**

上依知小学校では、児童が、農業者に教え

# 心に安らぎを、人にふれあいを

このプロジェクトは、次世代の子どもたちに、花とのふれあいを通じて、思いやりのある心を育んでほしいという願いと、地域コミュニティの輪を広げることが目的に、2012年から始まりました。

昨年は、約3200鉢のビオラが市内8カ所の小中学校や幼稚園、保育園で、色とりどりの花を咲かせました。

飯山小学校では、1年生と6年生でペアを組み、さまざまな色のビオラを組み合わせて、楽しそうに植え替えを行いました。

どの子も自分で植え替えたビオラを見て、満足気な笑顔を浮かべていました。

**夢ある未来プロジェクト**

**花を通じて思いやりのある心を**

6年生がサポート（飯山小）

**これからの事業は**

さまざまな事業を計画しておりますが、皆さまに身近に花を感じてもらえるよう、生産者が講師となって教えるフラワーアレンジ教室を予定しています。

**フラワーアレンジ教室**

3月14日、13〜15時、アミューあつぎ7階amyuスタジオ  
詳細は、2月15日発行の広報あつぎをご覧ください。

## この季節、育てるのにぴったりな「押し花」を紹介します。 おすすめ用途付

●ノースポール  
3〜5月が花期。日当たりがよく、水はけのよい所を好みます。アブラムシがつきやすいため、注意が必要です。



●パンジー  
2〜5月が花期。色が非常に豊富。寒さに強いので、冬に戸外で育てることも可能ですが、霜には注意が必要です。



●クリスマスローズ  
12〜3月が花期。高温多湿を嫌うため、水はけのよい、半日陰で育てるのが適しています。



6年生がサポート（飯山小）